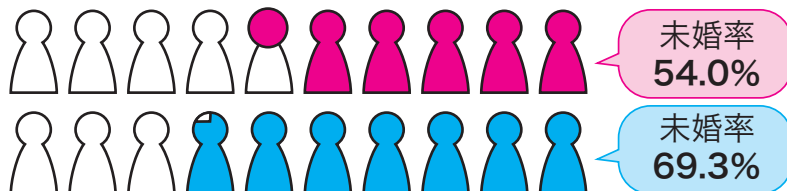


独身者には保障が必要（若年層の未婚率）

「平成12年 国勢調査」（総務省統計局）の結果を見ると、
若年層の未婚率が非常に上昇しているそうです。
25才から29才までの女性の未婚率が54.0%、男性が69.3%です。



生き方が多様になってきています。未婚率の上昇もそのひとつでしょう。

独身者には保障は必要ないと言われがちですが・・・

一人っ子の独身者には特に保障が必要です！

親の老後に備える

一人っ子の独身者の肩には、親の老後と介護問題がかかっています。ですから、親の老後の生活費と介護費用などの保障が必要です。

親の老後生活費や介護費用



自分の就業不能に備える

一人っ子の独身者には兄弟姉妹がいませんので、同世代の身近な身内がいません。就業不能になった時の収入補償が必要です。

就業不能になった時の収入補償



自分の老後に備える

一人っ子の独身者は両親を見送った後は、一人きりの老後がおとずれます。自分の老後生活費や介護費用が必要です。

自分の老後費用や介護費用



独身者はお金が自由になりますが、何かあった時助けてくれる人がいません。
将来の生活に対する「自助努力」「自己責任」がとても必要です。